

よっかいち家の

# 収入

歳入

市の「予算」ってどういうものでしょう？ それは一年間のお金のやり繰りです。その年度の収入を予測し、みんなのために使う道を考える、収支の計画です。本市の平成十三年  
度予算が、市議会三月定例会で可決されました。この特集では、市の一般会計の予算をよ  
っかいち家の家計簿に例え、家族みんなで一年間のやり繰りについて話し合ってみました。

昨年度より2・7%増（一般会計）

市税は増えたものの借金も増え、

貯金も下ろします

一般会計って何？

【お父さん】市税を主な財源として、福祉の充実や道路整備など、

市が取り組む基本的な施策にかか  
る事業の収支計画のことだよ。わが家の  
家計で言えば、給料などの収入と食費や  
光熱費、学費などの支出の家計簿だよ。

どんな収入があるの？

【お母さん】市の収入には、自分  
で賄えるものと国や県が決めたこ  
とに従って補助されるものがあるの

国や県からも補助されるのかわ？



【お父さん】児童手当や保育園の  
運営費など国や県が負担するもの  
や、市が行う道路・公園などの事

業に対して補助されるものなどの国庫支出  
金や県支出金があるよ。そのほか、減税に  
よる減収分を補うために国から交付され  
る地方特例交付金などの交付金もあるね。

収入は十分あるのかわ？

【お母さん】無

駄をなくした一  
定水準の暮らしをしよう  
と思うのだけれど、それ  
でも足りないからいろいろ  
工面したの。まず、昨年度に続

借金

いて国から財源不足の自治体に交付され  
る普通交付税をもらうのよ。でも、制度  
が変わって不足の責任を市も分担するこ  
とになったので、昨年度より四六・七%  
も減額になったのよ。だから、その不足  
分に対する地方債を発行することにした  
の。そのほかにも減税の補てん債の発行  
や、市土地開発公社に購入代金を立て替  
えてもらっている用地の買い戻しなどで、  
借金(市債)は昨年度より四二・八%も増  
えたのよ。それでも足りないから、貯金財  
政調整基金)の大半を下ろす予定なの。で  
も、できるだけ下ろさ  
ずにすむよう、頑張っ  
てやり繰りしたいわ。

収入の  
半分以上は  
市税



見てみよう、一年間のやり繰り

# よっかいち家の



特集

# 当初予算

平成13年度

よっかいち家の  
**支出**  
歳出



大変苦労したんだね  
それで一定水準の暮らしは  
保てるのかね？

【お父さん】可能な限りの手を尽くして  
収入の確保を図ったから、収入は全体で  
昨年度より二・七％増やすことができそ  
うなんだ。これで何とか、みんながやつ  
てほしいことにこたえられそうだね。

# 家計簿

しっかり節約して、  
みんなの要望に沿った事業への  
取り組みを増やしました

支出はどやって決めるの？

【お母さん】まず第一に、みんながやってほしいことにできるだけこたえることが大切ね。そして、総合計画の目標に沿ってまちづくりを進めるのよ。

みんなに使用されてるの？

【お父さん】使い道には、道路・公園・河川などの土木費、高齢者や障害者、児童の福祉などの民生費、保健・環境・清掃などの衛生費、学校教育や生涯学習などの教育費、商業・工業・観光などの商工費のほか、

総務費、消防費、農林水産業費や借金の返済（公債費）もあるんだよ。

節約も大切

節約をしっかりとした方がいいね

【お母さん】経費は、できる限り切り詰める努力をしているのよ。中でも人件費は、行財政改革の目標に沿って職員定

数を五十人減らすのをはじめ、ボーナスや残業手当も減らして、昨年度より五・八％減額にしたの。ただ、扶助費（注）は、児童手当制度の拡充などで四・七％増えたわ。

借金の返済はどつなの？

【お母さん】これまでの景気対策や大型建設事業のために借りたお金の返済が本格化したことや、減税による収入減を補うために借り入れたお金の返済などで、昨年度より二・〇％増えたのよ。

みんなの将来のため  
まちづくりも進めてね

【お父さん】まちづくりのために投資する経費はできるだけ確保しているよ。道路や学校、公共施設の整備など国の補助事業で昨年度より一八・七％増、市独自の事業で一六・五％増、投資的経費全体で一六・〇％増になったんだ。今できることを先送りせず、進めていこうとしているんだよ。

**注**

**扶助費**

生活に困っている人や身体の不自由な人などに対して、社会保障制度の一環として支出する経費



平成13年度  
当初予算は

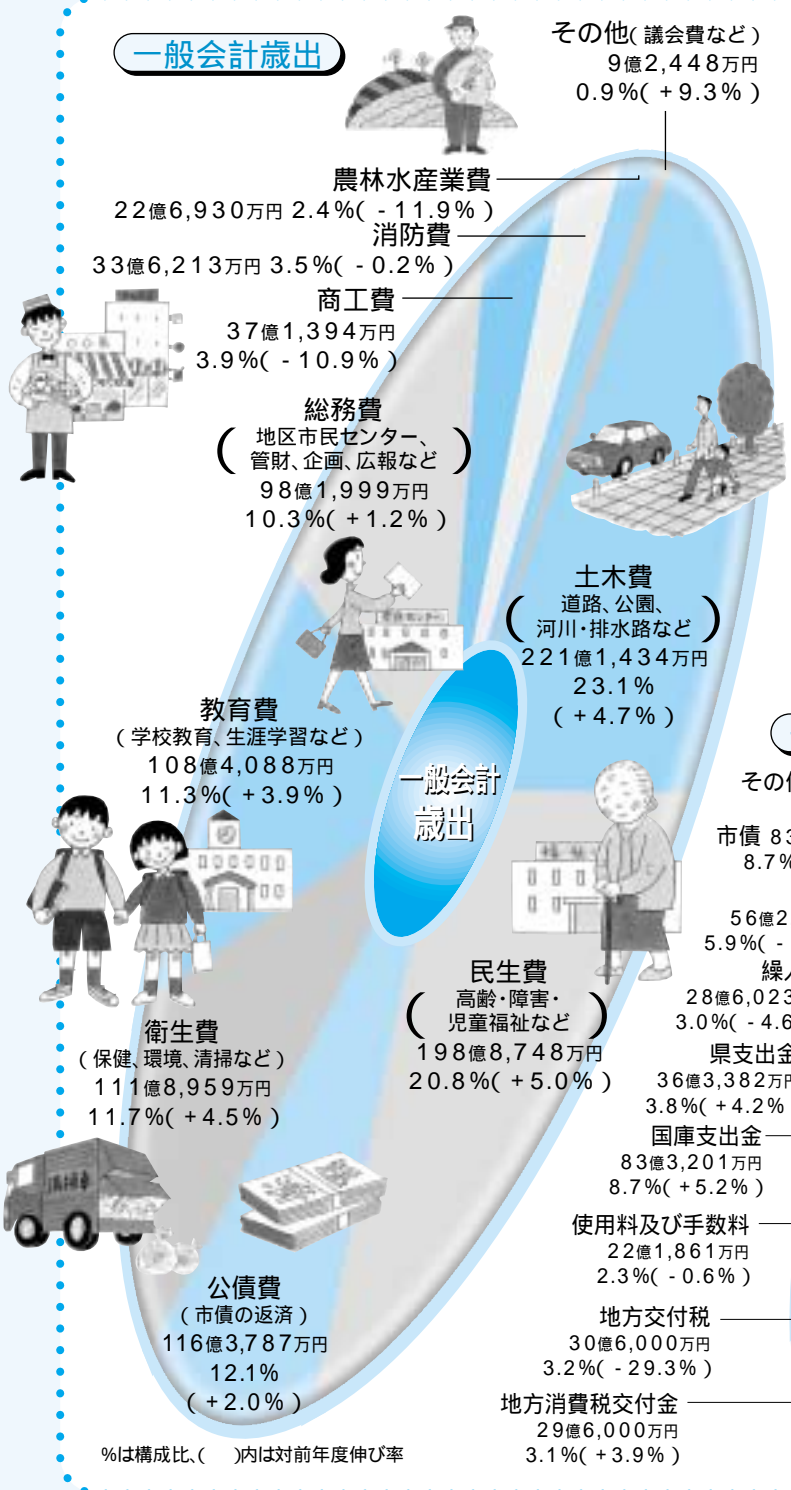
# 節約と積極投資の両立型

一般会計 957億6千万円(前年度比2.7%増)

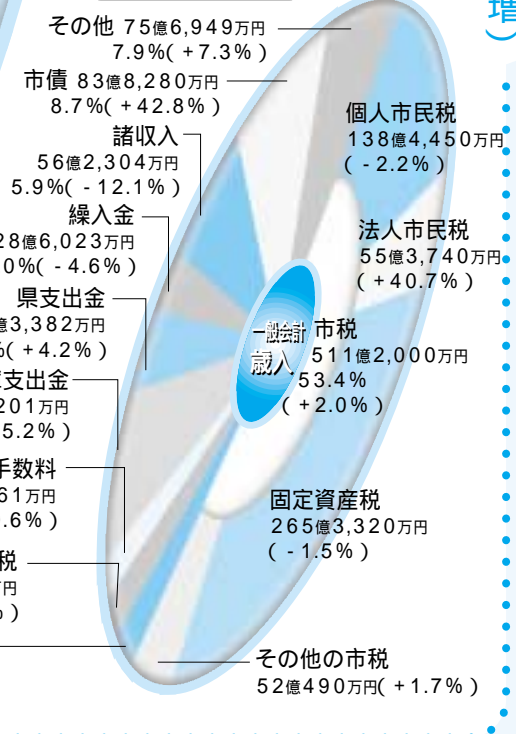
平成十三年年度の一般会計予算は、九百五十七億六千万円で、昨年度に比べて一・七%の増加となりました。昨年度に続き、年度内に予想される事業は可能な限り予算を計上する、年間総合予算になっていきます。

平成十三年度から始まる新・総合計画の第二次推進計画の目標達成を図るとともに、課題の先送りを避け内容となつていきます。また、行財政改革をより一層進めて経費の節減を図るとともに、可能な限りの財源を確保することにより、投資的経費を伸ばしました。

## 一般会計歳出



## 一般会計歳入



%は構成比、( )内は対前年度伸び率

## 特別会計・公営企業会計・財産区

会計名	予算額	前年度比
<b>特別会計</b>	855億3,210万円	
競輪事業	173億3,800万円	-4.5%
国民健康保険	180億3,000万円	+8.0%
食肉センター食肉市場	8億6,120万円	+2.6%
公共下水道	158億5,100万円	+0.8%
土地区画整理事業	15億4,260万円	+8.9%
交通災害共済事業	1億7,330万円	-11.8%
福祉資金貸付事業	1億2,000万円	+9.1%
住宅新築資金等貸付事業	1億370万円	-2.2%
老人保健医療	197億5,000万円	+0.0%
公共用地取得事業	13億9,350万円	+4314.7%
農業集落排水事業	5億4,880万円	+5.8%
介護保険	98億2,000万円	+17.2%
市営駐車場	-	皆減
<b>公営企業会計</b>	283億8,627万円	
市立四日市病院事業	159億4,013万円	-0.3%
水道事業	124億4,614万円	+1.0%
<b>財産区</b>		
桜財産区	3,420万円	+0.9%

公共用地取得事業では、市土地開発公社健全化のための用地買戻しにより、大幅に増えます。公共下水道では、人口集中地区を中心に引き続き整備を進めます。介護保険では、介護相談員を増員し、制度の質的向上を図ります。市営駐車場については、管理運営を(財)四日市都市整備公社へ委託し、特別会計を廃止します。

## 特別会計・公営企業会計

グラフおよび表中の金額については、表示単位未満を四捨五入しています。

# 平成13年度当初予算の 主な使いみち

「人と文化と自然を育む活気あふれる港まち」を目指して



市民が豊かな  
情報社会を  
享受できること

「気軽にＩＴ（情報通信技術）を体験できる  
（仮称）市民情報プラザ」を開設

地域の情報化を推進するのをはじめ、広くＩＴを学べるように講習会を開きます。また、「第四次情報化推進基本計画」を推進し、電子市役所の構築に努めます。

「（仮称）市民情報プラザ」の開設

博物館一階に開設し、電子マネーやＩＣカードなどの最先端のＩＴが体験できるようにします。

情報通信技術講習の実施

国の補助を受け、市内の全中学校、全地区市民センター、社会教育施設、民間施設などで、市内在住の成人を対象にパソコン講習会を開きます。

第四次情報化推進事業

電子市役所の構築を目指し、文書管理システムの調査研究や市町

社会が大きく変化する今、市政の運営も、市民のみなさんと行政がパートナーとなって協働で進め、みなさんの求めにきめ細かく対応していくことが重要です。平成十三年度は、新・総合計画の第二次推進計画がスタートする年です。そこで、その基本理念に沿った、「市民が豊かな情報社会を享受できること」、「市民が安全で安心して暮らせること」、「教育の充実と自主・自立した市民活動が展開されること」、「市民が生きがいを持って働くことのできる豊かな産業があること」の四つの視点から主な事業を紹介いたします。

市民が安全で  
安心して  
暮らせること

災害への備えを重点的に進め  
福祉や環境対策もきめ細やかに

昨年九月の集中豪雨の教訓から、市民のみなさんの安全を第一に、災害に強いまちづくりを進めます。総合防災システムを整備し、治水対策事業などを総合的に推進します。また、自主防災組織の結成の促進を図るとともに、消防・防災体制の整備・充実を図ります。

福祉事業では、介護保険制度の定着や児童虐待防止対策の充実を図るとともに、まちのバリアフリー化、ＩＴを利用した社会参加の促進などを進めます。環境事業では、市独自の環境マネージメントシステムの計画的推進などに努めます。さらにごみ減量と資源循環型社会づくりにも取り組みます。

防災について

総合防災システムの整備

四力所の消防署に設置してある雨量計を自動化するとともに、水位計を七局増設。老朽化したデータ処理装置を更新します。

総合治水対策

河川・排水路の総合的な整備と調査を実施します。



電子市役所に向けての整備



保育所の整備(保々保育園)



総合防災システムの整備(白須賀二丁目の水位計)

**環境について**  
四日市市版環境マネージメントシステムの構築  
市が認証を取得したISO14001をベースに、市独自の環境マネージメントシステムを構築し、計画的に全公共施設に拡大していきます。

**保育所建設(整備)事業**  
海蔵保育園を移転整備するための用地取得を行うとともに、保々保育園の改修、笹川西保育園などの補修を行います。また、日永中央保育園と四郷保育園の保育室を増やします。

**近鉄四日市駅バリアフリー化への補助**  
高齢者や身体の不自由な人がプラットフォームへ楽に移動できるように、エレベーター二基の整備費を補助します。  
**児童虐待防止対策の充実**  
「四日市市子どもの虐待防止ネットワーク会議」をさらに充実させるとともに、家庭相談員を一人増員し、電話や電子メールでの相談を受け付ける子どもの虐待防止ホットライン」を開設します。

**福祉について**  
**雨水幹線・ポンプ場の増設や設備の更新**  
集中豪雨などによる浸水を防ぐため、基本計画の見直しや下水路の新設・改良、ポンプ場の整備などを行います。  
**防火水槽の整備**  
地震災害対策として、耐震性貯水槽を計画的に整備します。  
**介護相談員の増員**  
介護保険サービスの質をより一層向上させるため、介護相談員を八人から二十人に増員します。

**学校教育では**  
教育情報通信システムの充実  
平成十三年度から、校舎を増改築する二校を除く小学校三十七校に、それぞれ約四十台のパソコンを配備します。  
**小学校英語指導員の増員**  
英語を母国語とする外国人指導員を増員し、三年生

**教育の充実と自主・自立した市民活動が展開されること**  
教育では、「情報教育」、「国際理解教育」を進めるとともに、いじめや不登校、児童・生徒の問題行動などに対応するための環境を整備します。  
スポーツの振興では、「全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を支援します。  
市民活動では、市民と行政が協働事業を推進するための環境整備を進めます。

**小学校でパソコン一人一台の授業や外国人指導の英語教育で豊かな将来を**  
教育では、「情報教育」、「国際理解教育」を進めるとともに、いじめや不登校、児童・生徒の問題行動などに対応するための環境を整備します。  
スポーツの振興では、「全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を支援します。

**大型粗大ごみの戸別有料収集**  
家電四品目以外の大型ごみの収集を、平成十四年一月から電話申し込みによる戸別有料収集にします。  
**人にやさしい道づくり**  
**交通渋滞対策**  
六地藏中川原線、三滝川左岸五号線などを拡幅するとともに、公共交通機関の利用を促進するため、近鉄富田駅西広場の整備計画を策定します。  
**幹線市道の整備**  
堀木日永線、赤堀山城線など、地域内の基幹をなす道路の整備を進めます。  
**自転車・歩行者道の整備**  
黒田平尾線、高浜昌栄線、西新地久保田線などに、自転車・歩行者道を整備します。



小学校でのパソコン授業





生涯スポーツの普及を推進



以上の全学級で、年間十時間程度の英語活動ができるようにします。

#### ● スクールカウンセラーの増員

いじめや不登校、問題行動に対応する臨床心理の専門知識を持つカウンセラーを中学校六校に派遣します。

#### ● 学校施設整備事業

八郷小学校の改築、大矢知興譲小学校の増築を行います。また、小・中学校の耐震補強、バリアフリー化などの整備を行います。

#### ● スポーツの振興では

##### 「全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催支援

十一月に本市で開催されるグラウンド・ゴルフ、インディアカ、タスポニーの三種目の大会を支援し、どこでも気軽に楽しめる生涯スポーツの普及を図ります。

#### ● 市民活動・催しなどでは

##### ● 市民活動センター管理運営の委託

市民活動センターの管理運営をNPO法人に委託します。

##### ● 東海道四百年記念事業の実施

東海道の宿駅伝馬制度制定四百年を記念して、ウオークラリー、東海道講座、シンポジウムなどのイベントを開催します。

### 特産の茶を生かした農業の振興 企業誘致や商店街のにぎわいづくりも

市民が生きがいを持って働くことのできる豊かな産業があること

農業では、担い手の育成や本市の特産品である茶をはじめとした農産物の振興対策を行うとともに、農村集落の環境対策、ほ場整備などを行っていきます。水産業では、十一月に「三重県豊かな海づくり大会」を開催し、水産物の消費拡大などを図ります。

商工業では、新規設備投資や中小企業の新分野への進出などを支援するとともに、中心市街地の活性化を図るため、にぎわいの創出に取り組みます。また、近鉄四日市駅西の商業空間への後継テナント誘致を積極的に支援します。

#### ● 農林水産業では

##### ● 経営構造対策事業

茶の乗用型摘採機などの管理機の導入や防霜ファンの設置に対する補助により、省力化の推進や担い手の育成を図ります。

#### ● 工業の振興では

##### ● 企業立地奨励金交付事業

新たな企業立地や既存企業の新規設備投資、新規産業の創出について、奨励措置の指定を受けた事業所に対し、設備投資に係わる固定資産税・都市計画税相当額の二分の一を三年間交付します。

#### ● 中心市街地の活性化では

##### ● まちなかにぎわい創出事業

近隣大学の研究室を空き店舗に誘致する、まちなかにぎわい塾の開設、まちづくりルールに基づく店舗外装費の五〇％(二百万円以内)を補助する、まちなか店舗外装整備費補助、新たな事業を空き店舗で始める場合、店舗改装費の九〇％(九十万円以内)を補助する、空き店舗新規出店者支援などを行います。

##### ● 諏訪公園内拠点施設整備の検討

現在児童館として利用されている歴史的建造物を、子どもを含む幅広い年齢の人が利用できる施設に改修するため、管理運営のあり方と活用形態を検討し、設計を行います。



活性化が進められる中心市街地



この特集のお問い合わせは、財務課 ☎ 54-8130 へ